

議会報告会 会場報告書

担当班： 2 班 班代表者： 恒 田 正 美

概要			
地区名 : 丹南地区 日時 : 平成 30 年 5 月 17 日 (木) 19:30~21:15 場所 : 四季の森生涯学習センター 参加人数 : 42 人(男 38 人・女 4 人)	【出席議員】 恒田 正美 木戸 貞一 河南 克典 大西 基雄 前田えり子 足立 義則	(1) 開会あいさつ : 恒田正美 (2) 議会報告 : 木戸貞一 (3) 質疑応答 : 下記参照 (4) 意見・提言等 : 下記参照 (5) 閉会あいさつ : 河南克典	挨拶・総括 : 恒田 正美 司会進行 : 河南 克典 報告 : 木戸 貞一 受付・会場 (マイク) : 前田 えり子 記録 : 大西 基雄、 足立 義則

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・ 3 月議会④市債があるが、市債残高は今どのようになっているのか。 また、それを篠山市の人口で割ると、1 人当たりどの程度になるのか。	・ 平成 29 年度末の篠山市の市債残高の見込み額が約 583 億円です。平成 30 年 3 月末住民基本台帳人口 41,968 人で割ると、市民一人当たり約 139 万円です。合併時より、かなり減少してきている状況です。
・ 味間小学校の農業体験に協力いただいている農家の方の高齢化が進んでおり、お断りされるかもしれない等と聞いている。ボランティアといっても色々と費用がいるため、農業振興面を含めて予算の確保を要望しておくので、検討を願いたい。	・ 執行部にお繋ぎします。

質疑・意見	回答
<p>・議会だより 81 号において、丹波市議会と合同の研修会を開催されたとの記事がある。その中に「講演と演習」とあるが、「演習」とは何をしたのか。また、篠山市人口 41,968 人、本籍地人口 62,984 人とあるが、今日の資料では人口 42,093 人、本籍地人口 63,709 人と違っている理由と「篠山ゆかりの人」とは何か説明されたい。</p>	<p>・「演習」とは、丹波市議会議員とテーブルに分れ、ワークショップを行ったことを表現したものです。数字の差は、今日の資料の数字は研修会で講師が使われた数字で、議会だよりのほうは平成 30 年 3 月末の数字です。本籍人口との差が小さければそこに住まれていることとなるが、篠山市の場合はその差が大きく、篠山市に本籍を置かれている「ゆかりある人」と研修しました。</p>
<p>・安定ヨウ素剤配付事業の予算に対し、付帯決議が付けられた。今、13 歳未満の受領率が 7 割を超えており、仮に 3 年後に受領率が下がった場合、議会として、この配付事業を中止とされるのか、危惧している。なお、公平性といわれるが、問診をしてヨウ素アレルギーなど健康上の理由であるので、それが公平性を欠くとはいえない。また、付帯決議の「効果及び今後の国会の原子力対策の状況変化を判断する」とはどう変化するということか。</p>	<p>・3 年前の安定ヨウ素剤配付事業を開始しようとした際の付帯決議と同じような意見が出され、予算特別委員会の中で賛成多数によって、再度、付されたものであります。受領できない方もおられる中で、公平性の観点から検討も必要ではないかというものです。原子力対策がどう変化するのかなどの具体的議論までは至っていませんが、3 年前と同様に 3 年後に再度検証すべきという意味とご理解いただきたいと思います。</p>
<p>・安定ヨウ素剤について、有事の際に保管分の活用など実際に訓練をしたことはあるのか。</p>	<p>・安定ヨウ素剤は観光客分も含めて備蓄もしていますが、訓練の実施は出来ていないので、今後、注視すべきところと考えています。</p>
<p>・子育て世代の意見として、古市地区では小さい子どもが遊べる公園がない。定住促進においても子育て環境として必要な施設であり、例えば整備された学童保育の園庭には遊具が何もなく、そこを整備して一般開放していただきたい。</p>	<p>・篠山市内の遊び場については、マップで紹介しています。ただし、近くにないというところもあることから、検討は必要であると考えています。学童の場合、小学校が近ければ活用できますが、遊具のないところもあります。今後、検討できればと思います。</p>
<p>・高校生など市民センターでは部屋としてではなく、置いてあるテーブルで自習を行っている姿を見るが、駅ラボの開放や、篠山市全体として自習席の整備を望む。</p>	<p>・執行部にお繋ぎします。</p>